

たしかめ

1

名 前

1

1 きゆうに テレビの がぞうが 乱れた。
みた

2

2 しっぱいの けいけんを へて せいちょうする。

3

3 あいじょう 豊^{ゆた}かで なさけぶかい ナイチンゲール。

4

4 ぞうのはな、ながくて つよいという いんしょう。

5

5 いきも たえだえ、ぜったいぜつめい。

たしかめ Ⅰ

5	4	3	2	1
絶	象	情	経	像
息も絶え絶え、絶体絶命。	象の鼻、長くて強いという印象。	愛情豊かで情け深いナイチンゲール。	失敗の経験を経て成長する。	急にテレビの画像が乱れた。 <small>みだ</small>

たしかめ

2

名 前

6

おんこうで にんじょうに あつい 私わたしの 祖そふ。

6

7

がっしょうコンクールで ぎんしょうになる。

7

8

がっきゅうの 現げんじようと かだいを かんがえる。

8

9

吉よしもとしんき劇げきの チケットを もらって よろこぶ。

9

10

もんだいの ときかたを かいせつしてもらう。

10

10	9	8	7	6
解	喜	状	賞	厚
問題の解き方を解説してもらおう。	吉本新喜劇 <small>よしげき</small> のチケットをもらって喜 <small>よろこ</small> ぶ。	学級の現状と課題を考 <small>かん</small> える。	合唱コンクールで銀賞になる。	温厚で人情に厚い私 <small>わたし</small> の祖父。

11

ものがたりのないようをはなして きかせる。

12

難しいわざを演えんぎにくみ込こみ きんメダル。

13

こうどなぎじゅつで ロケットをつくる。

14

ことばを てきせつに えらんで はなす。

15

にどと しっぱいは ゆるされない。

15	14	13	12	11
許	適	術	技	容
二度と失敗は許されない。	言葉を適切に選んで話す。	高度な技術でロケットを作る。	難しい技を演技に組み込み込み金メダル。	物語の内容を話して聞かせる。

16

16

このさきはきよかなければはいれません。

17

17

ふくすうのめでチェックする。

18

18

えきのこうないで犯^{はん}にんをまちかまえる刑^{けい}じ。

19

19

こうていのさくらも咲^さいてしんがつき。

20

20

うえのえきにハチこうのどうぞがある。

20	19	18	17	16
銅	桜	構	複	可
上野駅にハチ公の銅像がある。	校庭の桜も咲いて新学期。	駅の構内で犯人を待ち構える刑事。	複数の目でチェックする。	この先は許可が無ければ入れません。

21

21

窓^{まど}がやぶられは片^{へん}がさん乱^{らん}している。

22

22

かくもんをおさめ、ぎじゅつをしゅう得^{とく}する。

23

23

がつこうでならったことをいえでふくしゅうする。

24

24

がんきゅうを傷^{きず}つけ、がんかにいく。

25

25

バスのていしやするところがてい留^{りゅう}じよ。

たしかめ 5

25	24	23	22	21
停	眼	復	修	破
バスの停車するところが停留所。	眼球を傷つけ、眼科に行く。	学校で習ったことを家で復習する。	学問を修め、技術を修得する。	窓が破られ破片が散乱している。

26

じぶんが うまれたく にくが そこく。

27

はしる まえに じゅんびうんどうを する。

28

緊きゆうの じ態に そなえ 非常袋を じゅんびする

29

かいがいとの ぼうえきが 盛んな にほん。

5

30
こんな もんだい、やさしいよ。

たしかめ 6

30	29	28	27	26
易	貿	備	準	祖
こんな問題、易しいよ。	海外との貿易が盛んな日本。	緊急の事態に備え非常袋を準備する。	走る前に準備運動をする。	自分が生まれた国が祖国。

35	34	33	32	31
告	報	質	潔	際
「告げ口はやめよう。」と友に忠告。 <small>ちゅう</small>	実験成功の報告。苦勞が報われる。	分からないことは積極的に質問しよう。	清潔な身なりをしている。	これは実際にあった話です。

たしかめ

8

名 前

36

36

きん・ぎん・てつ・どうなどのきんぞく。

37

37

かくじつにちゅうもんどおりかたしかめた。

38

38

ききてをいしきしながらはなす。

39

39

かじのげんいんは、たはこのひだった。

40

40

ふねをつくるところがぞうせんじよ。

40	39	38	37	36
造	因	識	確	属
船を造るところが造船所。	火事の原因は、たばこの火だった。	聞き手を意識しながら話す。	確実に注文どおりか確かめた。	金・銀・鉄・銅などの金属。

たしかめ

9

名 前

4 1

はにはわふくがよくにあう。

4 2

かぎられたものしかはいれぬようにゆうじよう制^{せい}げん。

4 3

バスがていりゆうじよにとまっている。

4 4

こうじげんばかりむかしのどきがあらわれた。

4 5

たいふうがきゆうしゆうちほうにせっきんちゆう。

45	44	43	42	41
接	現	留	限	似
台風が九州地方に接近中。	工事現場から昔の土器が現れた。	バスが停留所に留まっている。	限られた者しか入れぬよう入場制限。	母には和服がよく似合う。

たしかめ

10

名前

46

4 6

おう援えんに こたえて ぜんりよくで プレーする。

47

4	7
---	---

たいふうの
せいりよくが
つよまり
猛烈な
いきおいの
かぜだ。

48

4	8
---	---

ちゅうごくで だいの おおきな 「こうが」。

49

4	9
---	---

じんるいのれきしをたどればもとはサル。

50

50

しじょう　さいだいの　おお型がたどうぶつは　恐竜きょうりゆう。

50	49	48	47	46
史	歴	河	勢	応
史上最大の大型動物は恐竜。	人類の歴史をたどれば元はサル。	中国で第二の大きな河「黄河」。	台風の勢力が強まり猛烈な勢いの風だ。	応援に ^{えん} 応えて全力でプレーする。

たしかめ

11

名前

51

51

きのみきのようになほんを貫くしんかんせん。

52

52

パーティーにまねくともへのしょうたいじよう。

53

53

もんくをいわずにてつだってね。

54

54

いちねんじゆう、つねにみどりはだからじようりよく樹。

5

55

じゅんじよく並んでまつ。

55	54	53	52	51
序	常	句	招	幹
順序よく並 <small>なら</small> んで待つ。	一年中、常に緑の葉だから常緑樹 <small>じゆ</small> 。	文句を言わずに手伝ってね。	パーティーに招く友への招待状。	木の幹のように日本を貫 <small>つらぬ</small> く新幹線。

たしかめ

12

名 前

56

56

ぶきを もって たたかう。

57

57

将^{しょう}らいの 夢^{ゆめ}は でんしゃの うんてんし。

58

58

こめの せいさんりょうを しりょうしゅうで しらべる。

59

59

じじつかどうか ちょうさを する。

60

60

じっけんが せいこうする 能力^{のう}は たかい。

60	59	58	57	56
性	査	資	士	武
実験が成功する可能性は高い。	事実かどうか調査をする。	米の生産量を資料集で調べる。	将来 <small>しやう</small> の夢は電車の運転士。	武器を持って戦う。

61

61

つねに あらず。いつもと違^{ちが}うことが「ひじょう」。

62

62

そうごうてきながくしゅうのじかんは たのしい。

63

63

たいじゅうや しんちょうを はかる しんたいそくてい。

64

64

この えきしやは たいしょうじだいの たてものだ。

65

65

あんないじょう、おうふくは がきで だしました。

65	64	63	62	61
往	舎	測	総	非
案内状、往復葉書で出しました。	この駅舎は大正時代の建物だ。	体重や身長を測る身体測定。	総合的な学習の時間は楽しい。	常に非 ^ち ず。いつもと違 ^が うことが「非常」。

66

66

こうえんでにんぎょう劇げきのこうえんをみた。

67

67

しんぶんのちょうかんをよむおとうさん。

68

68

よくこえてひりょうもいらぬよいはたけ。

69

69

せきゆからいろんなせいひんがせいぞうされる。

70

70

しゃ罪つみとは「ごめんなさい」とあやまること。

70	69	68	67	66
謝	製	肥	刊	演
謝罪とは「ごめんなさい」と謝ること。	石油からいろんな製品が製造される。	よく肥えて肥料もいらぬ良い畑。	新聞の朝刊を読むお父さん。	公園で人形劇 <small>げき</small> の公演を見た。

71

みずからの犯^{おか}したつみを認^{みと}め、しやざいする。

72

うまがあばれてみちをぼうそう。

73

おおなみをふせぐ堤^{つつみ}がぼうは堤^{てい}。

74

てつのげんりようとなるてっこうせき。

75

とりよくしたおかげでせいせきがあがった。

75	74	73	72	71
績	鉦	防	暴	罪
努力したおかげで成績が上がった。	鉄の原料となる鉄鉦石。	大波を防ぐ堤が防波堤。	馬が暴れて道を暴走。	自らの犯した罪を認め、謝罪する。

76

76

こころざしを たかく もとう。しょうねんよ たいしを 抱^{いだ}け。

77

77

こうくうびん^で にもつを おくる。

78

78

どりよくは むちゅうに かけてない。

79

79

げん稿^{こう}を へんしゅうして がつきゅうぶんしゅうを あむ。

80

80

けわしい やまみち、危^きけんな ところは 避^さけて とおる。

80	79	78	77	76
険	編	夢	航	志
険しい山道、危険な所は避けて通る。	原稿を編集して学級文集を編む。	水中を夢中で泳ぐ夢を見た。	航空便で荷物を送る。	志を高く持とう。少年よ大志を抱け。

8 1

よくないと はんだんしたら きつぱり ことわれ。

8 2

こつきようは、くにとくにとの さかいです。

8 3

ひじようじたいに そなえて てん検^{けん}する。

8 4

ながれに さからい、ぎやくほうこうに ふねを こぐ。

8 5

はんていの けっか、ゴールは む効^{きう}。

8 6

ていきあつが ちかづき あめが 降^ふりだす。

86	85	84	83	82	81
圧	判	逆	態	境	断
低気圧が近づき雨が降り出す。	判定の結果、ゴールは無効。	流れに逆らい、逆方向に船をこぐ。	非常事態に備えて点検する。	国境は、国と国との境です。	良くないと判断したらきっぱり断れ。

たしかめ

18

名前

86

しょうをえてとくいになつてゐる僕のあに。

87

いごこちのいいとかいにてんきよする若もの。

88

えんそくのおべんとうのなかみはおにぎり。

88	87	86
弁	居	得
遠足のお弁当の中身はおにぎり。	居心地のいい都会に転居する若者。	賞を得て得意になっている僕の兄。